



マチイロ

マチを好きになるアプリ

<http://machiirro.town>スマホで広報が読める！
自分に合わせた情報が届く！

発行●富里市 編集●富里市総務部秘書広報課 〒286-0292 千葉県富里市七栄 652 番地 1 TEL●0476 (93) 1111 (代) FAX●0476 (93) 9954 発行日●8月15日(毎月2回発行)
●富里市公式ホームページアドレス <http://www.city.tomisato.lg.jp/> ●電子メールアドレス info@city.tomisato.lg.jp

8月15日は終戦記念日

平和への願いを 次世代へ受け継ぐために

市では、次世代を担う子どもたちに平和の大切さを考えてもらうために、「平和を考える作文コンクール」を開催しています。第7回の昨年度は、市内小学6年生・中学3年生を対象に作品を募集しました。応募のあった82作品の中から、市長賞を受賞した菊地百合菜さん、教育長賞を受賞した森千尋さんの作品を掲載します。

閏秘書広報課 ☎(93) 1112

第7回平和を考える作文コンクール

市長賞受賞作品

平和への一步

七栄小学校6年 菊地百合菜さん
(受賞時の学年)

今、戦争の事をよく知っている人は多いだろうか。特に70代80代の人には実際に戦争を経験している人なので、その辛さやおそろしさをいやでも分かっている。しかし今の若い人の中には、そんなに深く戦争の事を知らない人もたくさんいる。そういう私も今まで、戦争の事はあまり知らなかった。

私は、社会の授業が苦手だ。しかし、その中で、今興味を持っている事がある。それが「戦争」だ。いつもは冗談を交えながら授業する先生が、一切冗談なしにする戦争の話だ。私は、父兄と暮らしているの、家で戦争の話をすることは無い。だから今までは戦争とは、ただのケンカみたいなものだと思っていた。しかし、本当の戦争は、もっとひどかった。日本が戦争をしていた当時、たくさんの方が家や食べ物を使い、貧しい暮らしをしていた。特に、原子爆弾を落とされた広島や長崎では食べ物、家などの建物もたくさん失ったので、生活がとても大変だったと思う。さらに、とても多い数の犠牲者も出た。中には、自分以外の家族がみんな死んでしまったという人もいた。その話を聞いた時、私は涙が止まらなくなった。なぜ、何も悪くない人々が辛い思いをし殺されなければならないのか。なぜ、簡単に命を奪われなければならないのか。もし私がその場にいたら、たえられないと思った。今すぐその場に行つて戦争の意味がない事を訴えたいと思った。でも今更そんな事はできない。だからこの話を聞いてから、二度と戦争が起きてほしくないと思うようになった。戦争を起こさないためにできることは、まずは、もっともつと戦争について知ることだと思う。今も世界のどこかでは、人々が傷つけあっていることを忘れずに、今の自分ができる限りの事をして、戦争のない平和な世界に近づけていきたいと思う。

教育長賞受賞作品

戦争がなくなる日

富里中学校3年 森千尋さん
(受賞時の学年)

私達は、今、家族に見守られ、何不自由なく、幸せに暮らしていますが、七十年以上前までは日本が、アメリカやヨーロッパ、アジアなどの世界中の国と戦争をしていたとは、今では考えられません。

学校の社会の授業の中で、戦争の歴史を学びました。戦争中の日本は若い男性は戦場へ行き、女性や子供も戦争の手伝いをしていましたが、日本は戦争に敗れ、今では、日本国憲法などのルールによって平和は保たれています。ですが、北朝鮮がミサイルを発射させたりする問題も起こっています。

私は、小学生の頃に観た「ぼたるの墓」というアニメの映画のシーンを今でも忘れることができません。それは、幼い兄妹が両親を戦争で失い、親戚をたらい回しにさせられて、食べる物もなく、誰からも助けてもらえず、とても苦しい生活を兄妹二人で送っていました。やがて幼い兄妹は、平和な日本を見ることもなく、亡くなってしまいました。

夏休みの八月になると、広島と長崎の原爆のニュースが流れています。その内容を少しずつ理解するようになって、とても胸が痛くなります。犠牲者になった家族の人達の話や、今でも病気で苦しんでいる人達の映像を見るたびに、戦争のことを真剣に考えるようになりました。

私は、今のような平和が永遠に続いてほしいです。そして、私達は戦争の歴史を正しく理解して、後世に戦争の歴史や、事実、平和の尊さを伝えられる大人になりたいです。

知っていますか？

富里市の忠魂碑

皆さんは市内の一角に、人知れずたたずむ石碑を見たことがありますか。

今回は市内の石碑の中から富里中学校内にある「忠魂碑」(写真下)について紹介します。

この忠魂碑は、満州事変以降の市内の戦死者の慰霊碑です。当時の忠魂碑建設委員の村郷友会と昭和29年度部落長(区長)が、村民に寄附金を募り建設されました。



昭和30年5月15日、富里中学校で、忠魂碑の除幕式と慰霊祭典(写真上)を盛大かつ厳粛に行われました。毎年、慰霊祭典は遺家族を招待し挙行されていましたが、この年は児童を加えて3,500人が参列し、式典終了後には、演芸と慰霊剣道大会が開催されました。



忠魂碑は高さ約4.6メートル



戦没者340人の名前を背面に刻み、現在も富里中学校の東南の高台に厳かにそびえています。

この記事について
生涯学習課
文化資源活用室
☎(93) 7641